

野馬土の新聞

(Web版)

2018年4月号

特定非営利活動法人
野馬土

相馬市石上字南白鬚320
TEL.26-8437
FAX.26-8203

『アースデー東京2018』に出展してきました！

アースデーは“地球のことを考える日”。

四月二十一日・二十二日の二日間にわたり、東京・代々木公園で開催されたイベントにブース出展し、子どもたちと一緒にラディッシュ(二十日大根)の種まき体験を行いました。白いプラ鉢は、思い思いのお絵かきで世界に一つのオリジナル植木鉢に大変身。小さな手で大切に蒔いた種は



二日間、お天気に恵まれました*

やさいのぬり絵も大好評！



それぞれのご家庭に持ち帰られました。用意した二〇〇セットすべてがなくなり、たくさんの子どもたちと触れ合うことができました。育てる楽しさと食べる大切さを伝える活動に、今後とも積極的に取り組んで行きたいと思えます。ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。



みんな楽しく作ってくれました(^^)



スタッフのみなさま、お疲れ様でした！



今月のおススメ*



ポカポカ陽気が気持ちいい時期になりました。汗ばむ日も多くなるこれからの時期に食べたくなるのが「ソーダ味」と「アイスソーダフロート味」が仲間入りしました。さらに、カフェ野馬土でしか味わえない？「オリカリ梅味」もありですよ。数量限定ですので皆様お早めに冷たいアイスで涼んで下さいね。

各¥250(パニラは¥280)

のまどギャラリー完成

この度、カフェの一角に『のまどギャラリー』ができました。理事の渡邊織音さんが東京から足繁く通って下さり完成したギャラリーには、今後、野馬土の活動内容や原発二十キロ圏内ツアーの様子などを展示していきたいと思えます。一般の方の展示スペースもできるとも思います。興味のある方はぜひ。今後のカフェの変身に乞うご期待ください。



のまどギャラリー作成中の渡邊理事

“再生可能エネルギー”のはなし

現在、日本で主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は限りがあるエネルギー資源です。これに対し、太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱などのエネルギーは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能です。資源が枯渇しないエネルギーです。これらは「再生可能エネルギー」ともいわれます。石油などに代わるクリーンなエネルギーとして、政府はさらなる導入・普及を促進しています。子供達の未来へと繋がる取り組みを私達も考えていかなければいけません。今回は再生可能エネルギーのお話でした。



原発二十キロ圏内ツアー 大盛況

二〇一二年から行っている福島第一原発二十キロ圏内ツアーは、今年七年を迎えます。ツアーの参加者は年々増加しておりましたが、今年は四月末の時点ですでに六百人以上の参加がありました。ツアーのガイドは現在八名。知識と経験を豊富に生かし、震災から時間が止まったままの現状と、前を向いて復興の道を進む福島の方を見て感じてもらおうと手伝いをしています。今後、夏休みなどを利用して学生さん達の参加も増えてきます。世代を問わず沢山の方に福島のことを知ってほしいと思えます。



私達がお案内します♪



昨年二月にご逝去されました野馬土職員、大貫昭子さんの遺稿集ができあがりしました。大貫さんは、「被災地フクシマの旅実行委員会」として原発二十キロ圏内ツアーのガイドも務めており、今回発行された遺稿集には、震災、原発事故が起きてから大貫さんが亡くなるまでの福島の様子が書かれています。ぜひ多くの方に読んでいただきたい本です。

